

	<p>上流水源(1/2)</p> <p>取水ポンプ場既存ポンプ小屋 洪水時の冠水防止のため、約 2m 高さの盛土上に設けられている。</p>
	<p>上流水源(2/2)</p> <p>既設導水管埋設部分の盛土 冬季の導水管凍結防止のため盛土により凍結防止用埋設深さを確保している。</p>
	<p>取水ポンプ室保温設備(1/2)</p> <p>上流水源取水ポンプ室（現況） 現在はヒーターで室内を暖房しており、電力費が高い。</p>
	<p>取水ポンプ室保温設備(2/2)</p> <p>配管保温材設置後(中央水源取水ポンプ室) 前回、中央水源で実施された配管の保温材。これにより冬季の電気使用量が大幅に削減された。</p>



上流水源送水ポンプ場(1/3)

既設旧ソ連製ポンプ

計画ポンプ揚程は 140mだが、今回性能試験の結果約 90mに低下していた。

(No.2 ポンプ)



上流水源送水ポンプ場(2/3)

既設旧ソ連製ポンプ軸受け部の漏水劣化・損傷が激しく、更新の必要が認められる。



上流水源送水ポンプ場(3/3)

小高い丘の斜面に建設されている



中央水源配水ポンプ場

奥が旧ソ連製ポンプ(No.7)、手前が日本製ポンプ(No.6、前回プロジェクトで更新済)

旧ソ連製ポンプ(No.7)は、性能試験の結果ポンプ能力が約 25%低下しており、電力費ロスが多くなっている。



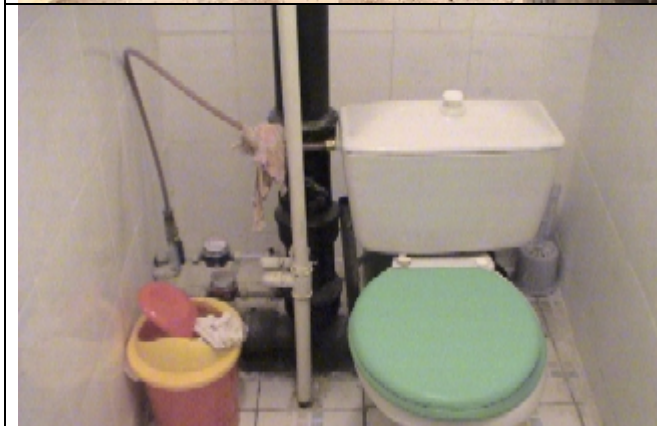
ウランバートル郊外(1/2)
ゲル地区では、テントに並んで木造家
屋も見られる



ウランバートル郊外(2/2)
キオスク（給水所）にゲル地区住民が
容器を持って給水を受けに来る。



ウランバートル市内(1/2)
市内で見られた漏水



ウランバートル市内の状況(2/2)
最近建設されたアパートでは、メータ
が設置されている。トイレが出入口に
一番近いため、ここに温水用と冷水用
にそれぞれ1個設置されている。